

尾張北部環境組合による広域ごみ処理施設の建設準備を進めます

事業費

3,143万円

担当課

環境課

令和10年4月の稼働に向け、施設配置が可能となるまでの用地が確保できたことを踏まえ、広域の新ごみ処理施設整備の整備運営を行う事業者を選定し、出入路整備の基本設計などを行っていきます。



予算科目

4-3-2

目名

ごみ処理費

特定財源

なし

事業の目的

ダイオキシン類の削減、マテリアルリサイクルの推進、公共事業のコスト縮減を図るため、愛知県のごみ焼却処理広域化計画に基づき、犬山市、江南市、大口町、扶桑町の2市2町で構成する尾張北部環境組合により、広域ごみ処理施設を建設します。

事業の内容

- 予算内訳（尾張北部環境組合が実施する事業に対して構成市町が負担金を支出）
 - ・議会費負担金 35万円
 - ・ごみ処理施設建設費負担金 3,108万円
- 令和4年度に実施する主な事業
 - 事業者選定支援等業務委託
 - ・尾張北部環境組合において計画しているごみ処理施設の整備・運営事業について、事業者選定に係る業務を実施します。
 - 出入路基本設計業務
 - ・ごみ処理施設整備に伴い、出入路の渋滞緩和のための道路整備工事発注にむけて、測量や地質調査等と基本設計を実施します。
 - 環境影響評価事後調査業務
 - ・事業実施区域内に営巣が確認されている希少動物に対する環境保全措置の妥当性や継続調査を実施します。

事業の効果

犬山市の都市美化センター、江南丹羽環境管理組合の環境美化センターは建設から38年以上経過し、老朽化しています。広域ごみ処理施設を建設することにより、住民が排出するごみを安定的に処理できます。

ゼロカーボンシティを目指します

事業費

797万円

担当課

環境課

国の地球温暖化対策計画のもと、住民や事業者の模範となる率先的な取組を計画し、実効的・継続的な温室効果ガスの排出削減につなげます。

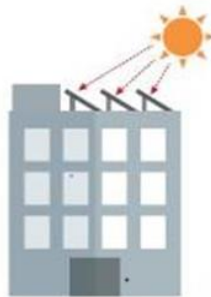
【省エネ】

LED照明など高効率機器の導入によりエネルギーを効率よく使う。



【創エネ】

太陽光発電設備の導入によりエネルギーを創る。



【ZEB】

省エネ+創エネにより、エネルギー収支「ゼロ」を目指した建築物



予算科目

4-2-1

目名

環境保全費

特定財源

—

事業の目的

2021年（令和3年）10月に閣議決定された地球温暖化対策計画では、従来の目標を修正し、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すこととし、地方公共団体に対して、自らの業務について、この計画に即した具体的な取組を記載した計画を策定することを促しています。ゼロカーボンシティを表明している本市では、今後、全ての公共施設へのLED照明の導入のほかに、新たな太陽光発電設備の導入を計画するため、設備導入の可能性を調査し、その結果を踏まえ、新たな地球温暖化対策実行計画の策定を行います。

事業の内容

○市保有の指定避難所26箇所（建築物と敷地）への太陽光発電設備導入の可能性を調査します。【委託料 379万円】

○2030年度の温室効果ガスの排出削減目標の見直しと、公共施設へのLED照明の導入、太陽光発電設備の導入、新築施設のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）など具体的な新たな取組を記載した地球温暖化対策実行計画（計画期間：2024年度～2030年度）を策定します。【委託料 418万円】

事業の効果

国と歩調を合わせた具体的かつ効果的な地球温暖化対策が確定し、2030年度温室効果ガス排出削減目標の達成、さらには2050年カーボンニュートラル（二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること）実現に向けた計画的な取組が可能となります。